令和4年度ネットリサーチ「森林湖沼環境税」に関する調査結果報告書

■結果のポイント

- 森林湖沼環境税の認知状況については、「森林湖沼環境税という名称」、「納税額」、「税を活用した取組」のいずれかを知っていると回答した 【認知度】は、16.0%となっている。
- 森林湖沼環境税を活用した事業で、「森林の保全・整備」に関して優先すべき取組については、「地球温暖化や災害の防止、水源の保全のための森林整備(植林や間伐など)」が85.1%で最も高く、「海岸防災林を保全するための植栽や松くい虫被害対策」が38.2%と続く。
- 森林湖沼環境税を活用した事業で、「湖沼・河川の水質保全」に関して優先すべき取組については、「浄化槽や下水道・農業集落排水施設による 生活排水の適正な処理」が77.2%で最も高く、「工場・事業場からの排水の適正な処理」が68.5%と続く。

■調査結果の概要

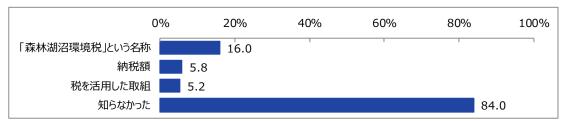
- 1 森林湖沼環境税の認知状況
- ◇ 「『森林湖沼環境税』という名称」、「納税額」、「税を活用した取組」のいずれかを知っていると回答した【認知度】は、16.0%となっている。
- ◆ 一方で「知らなかった」と回答した方は、は84.0%となっている。

茨城県では、森林の保全・整備や湖沼・河川の水質保全を進めるため、平成20年4月から「森林湖沼環境税」を導入しました。「森林湖沼環境税」は、県民税均等割に、個人は年額1,000円、法人は年額10%(資本金に応じ2,000円から80,000円)を加算しているものであり、森林の保全・整備や湖沼・河川の水質保全を進めるための事業に活用しています。

詳しくは、茨城県森林湖沼環境税ホームページをご覧ください。 HP: https://www.pref.ibaraki.jp/nourinsuisan/rinsei/shinkozei/tax/index.html

Q1.あなたは、「森林湖沼環境税」について、どの程度知っていましたか。次の中からあてはまるものを全て選んでください。 MA

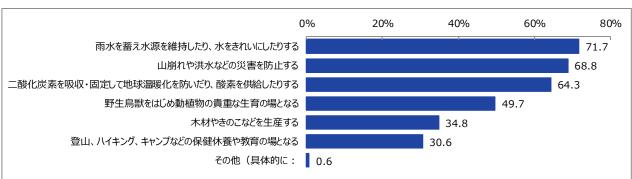
	%	n
全体	100.0	1000
「森林湖沼環境税」という名称	16.0	160
納税額	5.8	58
税を活用した取組	5.2	52
名称、納税額、取組のいずれかを知っている	16.0	160
知らなかった	84.0	840



- 2 「森林」の役割で重要だと考えること・期待すること
- ◆ 「雨水を蓄え水源を維持したり、水をきれいにしたりする」が71.7%で最も高く、「山崩れや洪水などの災害を防止する」が68.8%と続く。

Q2.「森林」は様々な役割を有し、私たちの生活を支えていますが、あなたはどのような役割が特に重要だと考えますか。あるいは、どのような役割を期待しますか。次の中からあてはまるものを全て選んでください。

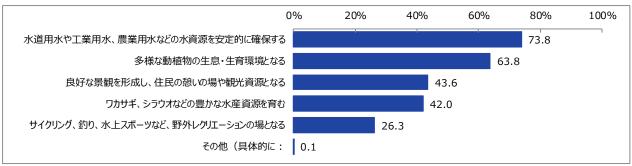
	%	n
全体	100.0	1000
雨水を蓄え水源を維持したり、水をきれいにしたりする	71.7	717
山崩れや洪水などの災害を防止する	68.8	688
二酸化炭素を吸収・固定して地球温暖化を防いだり、酸素を供給したりする	64.3	643
野生鳥獣をはじめ動植物の貴重な生育の場となる	49.7	497
木材やきのこなどを生産する	34.8	348
登山、ハイキング、キャンプなどの保健休養や教育の場となる	30.6	306
その他(具体的に:	0.6	6



- 3 「湖沼・河川」の役割で重要だと考えること・期待すること
- ◆ 「水道用水や工業用水、農業用水などの水資源を安定的に確保する」が73.8%で最も高く、「多様な動植物の生息・生育環境となる」が63.8%と続く。

Q3.「湖沼・河川」は様々な役割を有し、私たちの生活を支えていますが、あなたはどのような役割が特に重要だと考えますか。あるいは、どのような役割を期待しますか。次の中からあてはまるものを全て選んでください。 MA

	%	n
全体	100.0	1000
水道用水や工業用水、農業用水などの水資源を 安定的に確保する	73.8	738
多様な動植物の生息・生育環境となる	63.8	638
良好な景観を形成し、住民の憩いの場や観光資源 となる	43.6	436
ワカサギ、シラウオなどの豊かな水産資源を育む	42.0	420
サイクリング、釣り、水上スポーツなど、野外レクリエーションの場となる	26.3	263
その他(具体的に:	0.1	1



- 4 茨城県の自然環境を守るための取組の必要性
- ◆ 「森林の保全・整備」に関する取組について、「必要である」(53.9%)、「どちらかといえば必要である」(28.1%)を合わせた【必要】が82.0%となっている。
- ◆ 「湖沼・河川の水質保全」に関する取組について、「必要である」(53.2%)、「どちらかといえば必要である」(29.3%)を合わせた【必要】が82.5%となっている。

Q4.あなたは、森林の保全・整備や、湖沼・河川の水質保全など、茨城県の豊かな自然環境を守るための取組について必要だと思いますか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。 SA

	必要である	どちらかといえば 必要である	どちらともいえない	どちらかといえば 必要ない	必要ない	わ	からない
「森林の保全・整備」に関する取組		53.9			28.1	10.2	2.01.2 4.6
				_/	,		
「湖沼・河川の水質保全」に関する取組		53.2			29.3	10.0	1.6 1.2 4.7

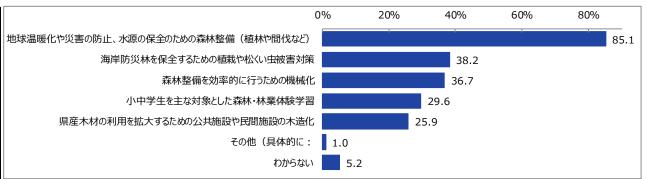
	n	必要である	どちらかといえば 必要である	どちらともいえない	どちらかといえば 必要ない	必要ない	わからない
「森林の保全・整備」に関する取組	100.0	53.9	28.1	10.2	2.0	1.2	4.6
一杯作の休生 走備」に関する状態	1000	539	281	102	20	12	46
「湖沼・河川の水質保全」に関する取組	100.0	53.2	29.3	10.0	1.6	1.2	4.7
一個石・河川の小真体主」に関する政組	1000	532	293	100	16	12	47

- 5 森林湖沼環境税を活用した事業で優先すべき取組(森林の保全・整備)
- ◆ 「地球温暖化や災害の防止、水源の保全のための森林整備(植林や間伐など)」が 85.1%で最も高く、「海岸防災林を保全するための植栽や松くい虫被害 対策」が 38.2%と続く。

(Q4「森林の保全・整備」に関する取組で「必要である」「どちらかといえば必要である」と回答された方へ)

Q5.「森林湖沼環境税」を活用した事業について、今後優先すべき「森林の保全・整備」に関する取組はどのようなことだと思いますか。次の中からあてはまるものを全て選んでください。 MA

	%	n
全体	100.0	820
地球温暖化や災害の防止、水源の保全のための森 林整備(植林や間伐など)	85.1	698
海岸防災林を保全するための植栽や松くい虫被害 対策	38.2	313
森林整備を効率的に行うための機械化	36.7	301
小中学生を主な対象とした森林・林業体験学習	29.6	243
県産木材の利用を拡大するための公共施設や民間 施設の木造化	25.9	212
その他(具体的に:	1.0	8
わからない	5.2	43

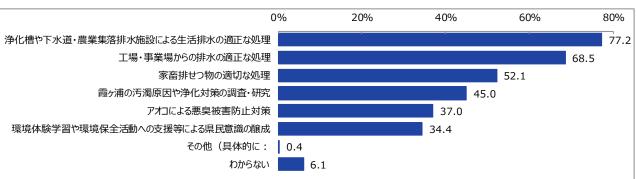


- 6 森林湖沼環境税を活用した事業で優先すべき取組(湖沼・河川の水質保全)
- ◆ 「浄化槽や下水道・農業集落排水施設による生活排水の適正な処理」が77.2%で最も高く、「工場・事業場からの排水の適正な処理」が68.5%と続く。

(Q4「湖沼・河川の水質保全」に関する取組で「必要である」「どちらかといえば必要である」と回答された方へ)

Q6.「森林湖沼環境税」を活用した事業について、今後優先すべき「湖沼・河川の水質保全」に関する取組はどのようなことだと思いますか。次の中からあてはまるものを全て選んでください。 MA

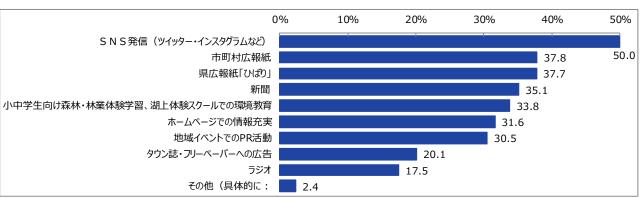
	%	n
全体	100.0	825
浄化槽や下水道・農業集落排水施設による生活 排水の適正な処理	77.2	637
工場・事業場からの排水の適正な処理	68.5	565
家畜排せつ物の適切な処理	52.1	430
霞ヶ浦の汚濁原因や浄化対策の調査・研究	45.0	371
アオコによる悪臭被害防止対策	37.0	305
環境体験学習や環境保全活動への支援等による 県民意識の醸成	34.4	284
その他(具体的に:	0.4	3
わからない	6.1	50



- 7 「森林湖沼環境税」の効果的な広報手段
- ◆ 「SNS発信(ツイッター・インスタグラムなど)」が50.0%で最も高く、「市町村広報紙」が37.8%と続く。

Q7.「森林湖沼環境税」の税制や税を活用した取組を更に知ってもらうためには、どのような手段が効果的だと思いますか。次の中からあてはまるものを全て選んでください。 MA

	%	n
全体	100.0	1000
SNS発信(ツイッター・インスタグラムなど)	50.0	500
市町村広報紙	37.8	378
県広報紙「ひばり」	37.7	377
新聞	35.1	351
小中学生向け森林・林業体験学習、湖上体験ス クールでの環境教育	33.8	338
ホームページでの情報充実	31.6	316
地域イベントでのPR活動	30.5	305
タウン誌・フリーペーパーへの広告	20.1	201
ラジオ	17.5	175
その他(具体的に:	2.4	24



■調査の目的

本県では、平成20年度から茨城県森林湖沼環境税を導入し、税を活用して、森林の保全・整備や霞ヶ浦をはじめとする湖沼・河川の水質保全に取り組んでいる。

税制や税を活用した取組への理解促進・認知度向上のため、取組への認識や効果的な広報手段等について調査することにより、今後の事業の進め方に活用する。

■実施概要

・実施期間: 令和4年12月16日~12月23日

・サンプル数:茨城県常住人口調査(令和4年4月1日現在)に基づく性別・年代・居住地(5地域)の割合で割り付けた 18 歳以上の県民 1,000 サンプル

回答者数 (人)

							<u>п п ж</u> (/ у/
		県北	県央	鹿行	県南	県西	計
全体		115	247	95	352	191	1,000
性別	男性	60	126	50	180	99	515
別	女性	55	121	45	172	92	485
左	18~29 歳	18	41	16	66	32	173
	30 歳代	17	44	17	62	32	172
年代別	40 歳代	23	57	21	81	43	225
万川	50 歳代	27	55	20	75	41	218
	60 歳代	30	50	21	68	43	212

県 北:日立市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、常陸大宮市、久慈郡

県 央:水戸市、笠間市、ひたちなか市、那珂市、小美玉市、東茨城郡、那珂郡

鹿 行:鹿嶋市、潮来市、神栖市、行方市、鉾田市

県 南:土浦市、石岡市、龍ケ崎市、取手市、牛久市、つくば市、守谷市、稲敷市、かすみがうら市、つくばみらい市、稲敷郡、北相馬郡

県 西:古河市、結城市、下妻市、常総市、筑西市、坂東市、桜川市、結城郡、猿島郡

(注)

- 1.「ネットリサーチ」の回答者は、民間調査会社のインターネットリサーチモニターであり、無作為抽出された調査対象者ではない。
- 2. 割合を百分率で表示する場合は、小数点第2位を四捨五入した。四捨五入の結果、個々の比率の合計と全体を示す数値とが一致しないことがある。
- 3. 図表中の表記の語句は、短縮・簡略化している場合がある。